

① 貸借対照表の見方

表 18 は医療法人の運営する一般病院の貸借対照表の要約版である（平成 17 年度実績値）。事業経営を会計的側面から言えば、事業主体が資本（現金）を調達しその資本を事業に投下（たとえば土地・建物などの現金以外の資産に転換）し、それら資産を活用して、商品・サービスを製造または仕入れ、それを販売することによって、資本を回収（現金化）する行為と捉える。資本の投下から回収までを資本の回転というが、貸借対照表とは、資本が回転している途中の特定時点（通常は決算期末）の姿を示すもので、左側（借方）が資本の投下状況、右側（貸方）が資本の調達状況を表している。

表 18 医療法人 一般病院の貸借対照表（百万円）

流動資産	695	流動負債	340	}	他人資本
現金・預金	320	未払金	97		
医業未収金	278	短期借入金	111		
その他	97	その他	132		
固定資産	1,258	固定負債	871		
有形固定資産	1,069	長期借入金	787	}	自己資本
その他	189	その他	84		
		負債合計	1,211		
		純資産	742		
		出資金	50		
		利益剰余金	692		
資産合計	1,953	資本合計	1,953		

i) 右方：資本の調達ルート

左方：資本が何に投下されているか（資本の使われ先）

ii) 他人資本：広い意味での借金（流動負債、固定負債） = 要返済資金
自己資本：文字通り自分のお金（純資産） = 返済不要資金

iii) 流動、固定の意味（1年を基準に区分・・・one year rule）

流動：1年以内に現金化（回収）される資産（流動資産）

1年以内に返済しなければならない負債（流動負債）

固定：現金化（回収）されるのに1年超を要する資産（固定資産）

返済に1年超を要してもよい負債（固定負債）